

## ① 仕入入力フォーム

仕入購買要求      フォーム名      購買要求

資産（現金）減少

購買要求番号 B\*\*\*\*\*-\*\*貸方資産の減少

借方

貸方

## 商品を買ったとき

## 仕入費用の発生

資産の減少（現預金）

商品を掛けて仕入れ、代金の支払いは後日とします

仕入（費用）

買掛金（負債）

### 固定資産を資産（現預金）で買ったとき

器具備品（固定資産）

資産の減少（現預金）

① -2 代金を支払ったときは、未払金が減少します

未払金（負債）

資産の減少（現預金）

③-2 借り入れた資金と利息を合わせた現金で支払った

短期借入金（負債）

資産の減少（現預金）

支払利息（費用）

資産の減少（現預金）

④ー1 目的が未確定の段階で現金を仮払いします 1,000

仮払金（資産） 1,000

資産の減少（現預金）1,000

④ー2 旅費の金額と内容が確定したた 900

旅費交通費 900

資産の減少（現預金） 900

借勘定科目 費用(仕入経費)		貸勘定科目 資産(現金 預金) 減	
固定資産	負債支払時 減価償却費	減価償却費累計額	消費税
仕入金額合計:	費用	旅費交通費	¥9,000
	資産	現金	¥9,000
売上金額合計:	業務費	¥0	現金預金
		¥0	¥0

購買要求

①発注書

発注日

受取日

工事仕様書path: 工事仕様書

図面詳細PDF

見積書PDF:

各職場 注文書 仕入れ 費用

購買要求番号

業者

担当者

旗手

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

㏀

㏁

㏂

㏃

㏄

㏅

㏆

㏇

㏈

㏉

㏊

㏋

㏌

㏍

㏎

㏏

㏐

㏑

㏒

㏓

㏔

㏕

㏖

㏗

㏘

㏙

㏚

㏛

㏜

㏝

㏞

㏟

㏠

㏡

㏢

㏣

㏤

㏥

㏦

㏧

㏨

㏩

㏪

㏫

㏬

㏭

㏮

㏯

㏰

㏱

㏲

㏳

㏴

㏵

㏶

㏷

㏸

㏹

㏺

㏻

㏼

㏽

㏾

㏿

㐀

㐁

㐂

㐃

㐄

㐅

㐆

㐇

㐈

㐉

㐊

㐋

㐌

㐍

㐎

㐏

㐐

㐑

㐒

㐓

㐔

㐕

㐖

㐗

㐘

㐙

㐚

㐛

㐜

㐝

㐞

㐟

㐠

㐡

㐢

㐣

㐤

㐥

㐦

㐧

㐨

㐩

㐪

㐫

㐬

㐭

㐮

㐯

㐰

㐱

㐲

㐳

㐴

㐵

㐶

㐷

㐸

㐹

㐺

㐻

㐼

㐽

㐾

㐿

㑀

㑁

㑂

㑃

㑄

㑅

㑆

㑇

㑈

㑉

㑊

㑋

㑌

㑍

㑎

㑏

㑐

㑑

㑒

㑓

㑔

㑕

㑖

㑗

㑘

㑙

㑚

㑛

㑜

㑝

㑞

㑟

㑠

㑡

㑢

㑣

㑤

㑥

㑦

㑧

㑨

㑩

㑪

㑫

㑬

㑭

㑮

㑯

㑰

㑱

㑲

㑳

㑴

㑵

㑶

㑷

㑸

㑹

㑺

㑻

㑼

㑽

㑾

㑿

㒀

㒁

㒂

㒃

㒄

㒅

㒆

㒇

㒈

㒉

㒊

㒋

㒌

㒍

㒎

㒏

㒐

㒑

㒒

㒓

㒔

㒕

㒖

㒗

㒘

㒙

㒚

㒛

㒜

㒝

㒞

㒟

㒠

㒡

㒢

㒣

㒤

㒥

㒦

㒧

㒨

㒩

㒪

㒫

㒬

㒭

㒮

㒯

㒰

㒱

㒲

㒳

㒴

㒵

㒶

㒷

㒸

㒹

㒺

㒻

㒼

㒽

㒾

㒿

㓀

㓁

㓂

㓃

㓄

㓅

㓆

㓇

㓈

㓉

㓊

㓋

㓌

㓍

㓎

㓏

㓐

㓑

㓒

㓓

㓔

㓕

㓖

㓗

㓘

㓙

㓚

㓛

㓜

㓝

㓞

㓟

㓠

㓡

㓢

㓣

㓤

㓥

㓦

㓧

㓨

㓩

㓪

㓫

㓬

㓭

㓮

㓯

㓰

㓱

㓲

㓳

㓴

㓵

㓶

㓷

㓸

㓹

㓺

㓻

㓼

㓽

㓾

㓿

㔀

㔁

㔂

㔃

㔄

㔅

㔆

㔇

㔈

㔉

㔊

㔋

㔌

㔍

㔎

㔏

㔐

㔑

㔒

㔓

㔔

㔕

㔖

㔗

㔘

㔙

㔚

㔛

㔜

㔝

㔞

㔟

㔠

㔡

㔢

㔣

㔤

㔥

㔦

㔧

㔨

㔩

㔪

㔫

㔬

㔭

㔮

㔯

㔰

㔱

㔲

㔳

㔴

㔵

㔶

㔷

㔸

㔹

㔺

㔻

㔼

㔽

㔾

㔿

㕀

㕁

㕂

㕃

㕄

㕅

㕆

㕇

㕈

㕉

㕊

㕋

㕌

㕍

㕎

㕏

㕐

㕑

㕒

㕓

㕔

㕕

㕖

㕗

㕘

㕙

㕚

㕛

㕜

㕝

㕞

㕟

㕠

㕡

㕢

㕣

㕤

㕥

㕦

㕧

㕨

㕩

㕪

㕫

㕬

㕭

㕮

㕯

㕰

㕱

㕲

㕳

㕴

㕵

㕶

㕷

㕸

㕹

㕺

㕻

㕼

㕽

㕾

㕿

① 伝票

値集合ソース : " 購 買 要 求 票";"発注書";"検収書";"受領書";"費用";"負債";"資産";"工業簿記";

既定値 : "発注書"

② 購買要求番号

定型入力 : "B"000000¥-00;0;\* 例 B24 年 01 月 01 日—01 B240101-01

W クリック時 : DoCmd.OpenForm "見積書",,, "受注コード" = " & Me!受注コード"

③ 収益・費用

値集合ソース : "費用";"負債（返金）";"資産";"減価償却";"製造原価"

既定値 : "費用"

④ 業者 ID

値集合ソース : SELECT 業者マスター.業者 ID, 業者マスター.業者名 FROM 業者マスター;

⑤ 受取日

発注段階では記入しないという事で勘定科目の金額は計算されません例えば商品を受け取り受取日を記入して①の伝票を発注書を検収・受領書と変えて発行できるようにしています

⑥ 非連結 ⑦の絞り込み用コンボボックス

値集合ソース : SELECT 工事依頼番号.部署 FROM 工事依頼番号 GROUP BY 工事依頼番号.部署  
ORDER BY 工事依頼番号.部署;

⑦ 工事依頼番号

マクロ 1 のコピーを使って 値の代入設定

DLookup("工事依頼番号","工事依頼番号","Forms![購買要求]![工事依頼番号]Like[工事依頼番号]&'\*")

テーブル:工事依頼番号のレコードが削除になってもコピーして データがのこる設定

⑧ 非連結 ⑨の絞り込み用コンボボックス pub\_nan fun\_nan = pub\_nan Module で設定

値集合ソース : SELECT 設備区分・予算番号 1.nan, 設備区分・予算番号 1.[グループ 1] FROM 設備区分・  
予算番号 1 GROUP BY 設備区分・予算番号 1.nan, 設備区分・予算番号 1.[グループ 1];

⑨ グループ 設備区分・予算番号 1

設備名（グループ）としていますが、 工業簿記の時は設備・商品の製造に変えてください

値集合ソース : SELECT 設備区分・予算番号 1.ID, 設備区分・予算番号 1.[グループ], 設備区分・予算番号  
1.設備名, 設備区分・予算番号 1.部課コスト, 設備区分・予算番号 1.[コストセンタ], 設備区分・予  
算番号 1.nan FROM 設備区分・予算番号 1 WHERE (((設備区分・予算番号  
1.nan)=fun\_nan())) ORDER BY 設備区分・予算番号 1.[グループ], 設備区分・予算番号 1.  
設備名, 設備区分・予算番号 1.部課コスト, 設備区分・予算番号 1.[コストセンタ], 設備区分・予算  
番号 1.部署;

⑩ 商品区分 ID

値集合ソース : SELECT 商品区分.商品区分 ID, 商品区分.品名コード, 商品区分.商品区分名 FROM 商  
品区分;

⑪ 社員 ID

値集合ソース : SELECT 社員マスター.社員 ID, 社員マスター.氏名, 社員マスター.氏名（カタカナ）  
FROM 社員マスター;

既定値 : =[社員 ID].[itemdata](0) テーブル社員マスターで 氏名を変えてください

⑫ 納期

既定値 : Date()+5 リンクのテーブルで設定しています

## ⑥購買明細 入力フォーム

### ⑬ 非連結 ⑭の絞り込み用コンボボックス

値集合ソース : SELECT 商品区分.NN, 商品区分.品名コード, 商品区分.商品区分名 FROM 商品区分;

### ⑭ 商品 ID

更新後処理 :単価を値代入商品単価・仕入金額にコピーしています

値集合ソース : SELECT 商品マスター.商品 ID, 商品マスター.商品名, 商品マスター.型番, 商品マスター.[メーカー], 商品マスター.商品の概要, 商品マスター.在庫個数, 商品マスター.[フリガナ], 商品マスター.NNA FROM 商品区分 INNER JOIN 商品マスター ON 商品区分.商品区分 ID = 商品マスター.商品区分 ID WHERE (((商品マスター.NNA)=fun\_nna())) ORDER BY 商品区分.商品区分 ID, 商品マスター.商品名;

### ⑮商品マスター 開くボタン

⑮商品単価 単価コピー 値段が変わればこのテキストで商品単価を変更してください  
過去の伝票で商品 ID で選択しない限り商品単価は変わりません

⑰仕入金額 単価をコピーしています仕入金額をかえてください 粗利の計算です

⑱コントロールソースの式 =[購買商品明細クエリのサブフォーム].[Form]![明細金額合計 ]

⑲コントロールソースの式 =[購買商品明細クエリのサブフォーム].[Form]![テキスト 31]  
テキストの数字をクリック :予想金額合計・費用・消費税をコピーできます

⑳決定金額 絶対値に-を付けます Me!決定金額 1 = Abs(Me!決定金額 1) \* -1

1, クロス集計の合計の為決定金額に-を付けました

2, 累計残高勘定科目用金額にする為-を付けました

㉑借方 ㉒貸方 資産減少金額の相手勘定科目 現金から見た見出し

㉒貸方 資産減少 負債増加の勘定科目

### ㉓参照

参照: Left([購買要求 I D],1)のテキスト

クリック時 DoCmd.OpenForm "見積書",,,"参照 = 'B'" filter をして

購買要求番号 B\*\*\*\*\*—\*\*だけにします

①②③のボタンは各伝票のレポートの発行ボタン

①の条件 Private Sub コマンド 307\_Click() 発注書

With CodeContextObject

DoCmd.RefreshRecord

If ([コンボ 223] = "発注書" = True And 参照 = "B" And IsNull(納入終了日) = True) Then '納入終了日 日付空を求める条件

DoCmd.OpenReport "発注書", acViewPreview, "", "[Forms]![購買要求]![購買要求 I D]=[購買要求]![購買要求 I D]", acNormal

Else

Beep

MsgBox "購買要求""B\*\*\*\*\*"と""発注書""確認" & vbCrLf & "費用金額合計値確認", vbOKOnly, "もう一度確認"

End If

End With

End Sub

②の条件 Private Sub コマンド 315\_Click() 検収書

With CodeContextObject

DoCmd.RefreshRecord

If ([コンボ 223] = "検収書" = True And 参照 = "B" And IsNull(納入終了日) = False) Then '納入終了日 日付入力求める条件

## ①複写

購買要求番号を\*\*\*\*\*―\*\*を 50 に変わりレコードを複写しますが購買明細の購買要求番号は変わっていませんから

購買明細の 商品のレコードを選択して⑤ボタンをクリックして下さい

購買明細の選択したレコードが購買要求番号が 50 として追加されます

複数選択する時は一個一個レコードを選択して⑤をクリックして繰り返しして下さい 商品のレコード選択が終了で⑥ボタン更新で複写終了です

例仕入だと在庫数は数量分だけ増えていると思います

この時も条件として納入終了日 受取日 空では在庫の計算はされません

品物を受け取って受取日を入力して検収書・受領書発行で在庫も増える条件にしています

売上の時は在庫数は数量分だけ減少

品物を渡して納入終了日を入力して納品書・請求書発行で在庫数減少条件にしています。

勘定科目の金額も同様 このフリーソフトは受取日と納入終了日が計算の鍵です

気を付けてください 確認するため filter ボタンをたくさんつくりました

## ② 売上入力フォーム

売上見積書      フォーム名      見積書  
資産（現金）増加

見積書      A\*\*\*\*\*\_\*\*借方資産の増加

借方

貸方

商品を売った時

資産の増加（現預金）

売上収益の発生

商品を掛けて販売し、代金の受け取りは後日とします

売掛金（資産）

売上

商品を販売する前に現金を受け取った（手付金）

資産の増加（現預金）

前受金（負債）

①ー1 固定資産を後払いで購入した際

器具備品（固定資産）

未払金（負債）

②ー1 固定資産を売却し、代金を後で受け取る

未収入金（資産）

器具備品（固定資産）

②ー2 代金を受け取ったときは、未収入金が減少します。

資産の増加（現預金）

未収入金（資産）

③ー1 取引先から現金を借り入れ

資産の増加（現預金）

短期借入金（負債）

入金があったものの、原因不明の入金

資産の増加（当座預金）

仮受金（負債）

借勘定科目 資産(現金 預金)増		貸勘定科目 収益(売上・受取利息)	
固定資産		負債	純資産
	¥0		¥0
資産 現金	¥2,052	収益 1売上	¥2,052
現金預金		売上高	¥152
	精算表収益金額		レポート合計金額

### ③ 購買明細 各合計テキストのコントロールソース

商品区分 NN の番号を商品マスターの NNA にコピーして消費税を分けています

「※」軽減税率対象であることを示す	小計	:	¥1,900	消費税	¥152
	(8%) 対象(※)		¥1,900	消費税	¥152
合計金額(税込) ¥2,052	(10%) 対象		¥0	消費税	¥0
利益 ¥0 利益率 0.00% 不課税& 値引	対象外		¥0	消費税	¥0

test 複写

レコード: 1 / 1    フィルターなし    検索

小計      明細金額合計のコントロールソース      =Sum([明細金額])  
         テキスト 44                      消費税                      =[テキスト 40]+[テキスト 42]

(8%) 対象 (※)      条件 NNA=50

         テキスト 38                      8%の明細金額合計

=Nz(DSum("[明細金額"],"購買商品明細クエリ","[購買商品明細クエリ]![購買要求 ID] ="" & [購買要求 ID] & "" And NNA=50"),0)

         テキスト 42                      8%の明細金額合計の消費税

=Int(Nz(DSum("明細金額","[購買商品明細クエリ]","[購買要求 ID] ="" & [購買要求 ID] & "" And NNA =50")\*0.08+0.55,0))

(10%) 対象              条件 NNA < 46

         テキスト 29                      10%の明細金額合計

=Nz(DSum("明細金額","[購買商品明細クエリ]","[購買要求 ID] ="" & [購買要求 ID] & "" And NNA < 46 "),0)

         テキスト 40                      10%の明細金額合計の消費税

=Int(Nz(DSum("明細金額","[購買商品明細クエリ]","[購買要求 ID] ="" & [購買要求 ID] & "" And NNA <46")\*0.1,0))

対象外                      条件 NNA>59

         テキスト 53

=Nz(DSum("[明細金額"],"購買商品明細クエリ","[購買商品明細クエリ]![購買要求 ID] ="" & [購買要求 ID] & "" And NNA>59"),0)

         テキスト 55

=Nz(DSum("[明細金額"],"購買商品明細クエリ","[購買商品明細クエリ]![購買要求 ID] ="" & [購買要求 ID] & "" And NNA>59")\*0,0)

テキスト      "" & [購買要求 ID] & ""    入力する時注意してください    文字と数字の違い

合計金額

         テキスト 31

=Nz([テキスト 29],0)+Nz([テキスト 38],0)+Nz([テキスト 44],0)+Nz([テキスト 53],0)+[テキスト 55].[Requery]



## ⑧写真フォーム

**購買明細**    **写真**

決定金額・費用 経費は マイナス クロス集計の為

---

ImagePath ①  
D:\見積書\写真\スクリーンショット\_20230212\_151047.png

②  
imagepath

③

⑥

## 発 注 書

ニシツツ 様

以下の通り、ご注文申し上げます。

納入期日	2023/02/15	注文番号	B230209-03
納入場所	指定場所	〒----- TEL: -----	*****
<b>予想合計金額 ￥4,500</b>		(消費税込み)	

No.	商品名	数量	単位	商品単価	明細金額
1	型番 コカ・コーラ 缶	1	式	¥200	¥200
2	型番 缶詰	1	式	¥2,913	¥2,913
小計 :				¥3,113	消費税 ¥307
「国」軽減税率対象であることを示す (5%) 対象(※)				¥200	消費税 ¥16
合計金額(税込) ¥3,420 (10%) 対象				¥2,913	消費税 ¥291

備考:

発行日 2023/02/10

拡大 縮小

tbimage 開く

- ① ImagePath  
テキスト          ハイパーリンクとして表示
- ② ImagePath ボタン  
購買要求番号として保存する写真ファイルを開き①のテキストに path をコピーする
- ③ 写真の追加ボタンを押して②を押して写真を増やす
- ④ 写真の    拡大・縮小
- ⑤ tbimage テーブルを開いて確認してください
- ⑥ 写真